

教育委員会会議 定例会

令和7年1月7日

# 提出議案綴

山梨県教育委員会

# 1 議 案

な し

## 2 報 告 事 項

- ( 9 ) 第9回大村智自然科学賞受賞者について
- ( 10 ) 令和9年度全国高等学校総合体育大会「大会愛称、スローガン、シンボルマーク、総合ポスター図案」の選考結果について

## 3 その他報告

- ( 13 ) 令和6年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査結果の概要について
- ( 14 ) 青少年保護育成のための環境浄化に関する条例の一部を改正する条例
- ( 15 ) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

(令和7年1月7日定例教育委員会資料)		課名	高校教育課
件名	第9回大村智自然科学賞受賞者について		
経緯	<p>○趣旨</p> <p>県内の中学生・高校生等の理科・数学及びこれらに関連した分野に対する興味・関心や知的探究心をより一層高めるとともに、新しい才能や可能性を発見し先端科学技術の発展に寄与できる人材の育成を図ることを目的に、大村智博士のノーベル生理学・医学賞受賞を記念し、平成28年度に創設。優れた実績をあげた中学生・高校生等を表彰している。</p> <p>○募集期間 令和6年9月30日(月)～11月15日(金)</p> <p>○応募者数 中学生部門 応募無し 高校生部門 2校</p> <p>○選考委員会の開催</p> <p>日時 令和6年12月25日(水)</p>		
内容	<p>○受賞者</p> <p>[高校生部門]</p> <p>山梨県立甲府南高等学校 物質化学部 金属樹班</p> <p>3年 <sup>きたもり</sup>北森 <sup>はると</sup>晴翔さん <sup>いのうえ</sup>井上 <sup>ゆきや</sup>幸弥さん <sup>のざわ</sup>野澤 <sup>かいと</sup>凱人さん</p> <p><sup>いはた</sup>井畑 <sup>こうすけ</sup>輝亮さん</p> <p>2年 <sup>むらまつ</sup>村松 <sup>いおり</sup>庵さん</p> <p>研究テーマ 金属樹と電流密度・結晶格子の関係</p> <p>(主な受賞歴)</p> <p>第48回全国高等学校総合文化祭 奨励賞  第41回化学クラブ研究発表会 研究奨励賞  第44回山梨県高等学校芸術文化祭 芸術文化祭賞</p> <p>○表彰式について(予定)</p> <p>日時 令和7年2月3日(月) 16:00～</p> <p>場所 県庁別館 正庁</p> <p>※当日、大村智先生は出席の予定</p>		

## 第9回大村智自然科学賞 受賞者の紹介

### 高校生部門

山梨県立甲府南高等学校 物質化学部 金属樹班

3年 <sup>きたもり</sup>北森 <sup>はると</sup>晴翔さん <sup>いのうえ</sup>井上 <sup>ゆきや</sup>幸弥さん <sup>のざわ</sup>野澤 <sup>かいと</sup>凱人さん <sup>いはた</sup>井畑 <sup>こうすけ</sup>輝亮さん  
2年 <sup>むらまつ</sup>村松 <sup>いおり</sup>庵さん

### 【主な受賞歴】

第48回全国高等学校総合文化祭 奨励賞

第41回化学クラブ研究発表会 研究奨励賞

第44回山梨県高等学校芸術文化祭 芸術文化祭賞

### 【研究テーマ】

金属樹と電流密度・結晶格子の関係

### 【研究内容】

昨年度の研究で、塩の陰イオンの種類が異なると結晶の形状が異なる現象が見られ、今年度の実験では塩の種類に関わらず長時間電気分解を行うと複数の形状の結晶が見られることが分かった。そこで電流密度と金属樹の形状の関係を調べるため硝酸鉛・酢酸鉛を用いて、定電流電解を行い、結晶の成長方向を光学顕微鏡で観察した。また、詳細な結晶構造を観察するために、走査型電子顕微鏡による観察を行った。その結果、電流密度により結晶の形状が変わることを確認し、「シダの葉状」と「線状」の結晶の構造的な違いを考察した。

受賞者には、科学を担う人材を目指し今後の活躍を期待するとともに、この研究活動を通じて後輩のよき手本として、更に大学や研究機関での発展的な研究内容の追及に精進することを期待したい。

報告事項 10

令和9年度全国高等学校総合体育大会「大会愛称、スローガン、シンボルマーク、総合ポスター図案」の選考結果について

[別途資料配付]

(令和7年1月7日 定例教育委員会)

課室名 教育企画室

件名

令和6年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査結果の概要について

概要

- 1 調査基準日 令和6年12月10日
- 2 調査対象者 6,705人  
※県内の中学校88校(国立1、公立80、私立7)の第3学年に在籍する全生徒(富士見支援学校以外の特別支援学校中学部は含まない。)
- 3 調査目的 毎年度2回(基準日:9/20、12/10)実施することにより、中学校卒業後の進路希望状況を把握し、進路指導等の資料提供をする。

内容

1 総括表及び進学希望者

区 分	希望者数	希望率	前年同期		
			希望者数	希望率	
<b>進学希望者</b>	<b>6,631人</b>	<b>98.90%</b>	<b>6,804人</b>	<b>98.78%</b>	
内	(全日制高校・高専)	(6,040人)	(90.08%)	(6,255人)	(90.81%)
内	[県内公立高校]	[4,782人]	[71.32%]	[4,999人]	[72.58%]
	[県内私立高校]	[1,077人]	[16.06%]	[1,086人]	[15.77%]
	[県外高校・高専]	[181人]	[2.70%]	[170人]	[2.47%]
内	(定時制高校)	(125人)	(1.86%)	(108人)	(1.57%)
	(通信制高校)	(404人)	(6.03%)	(382人)	(5.55%)
	(特別支援学校)	(62人)	(0.92%)	(59人)	(0.86%)
<b>就職希望者</b>	<b>24人</b>	<b>0.36%</b>	<b>27人</b>	<b>0.39%</b>	
<b>その他(各種学校等)</b>	<b>50人</b>	<b>0.75%</b>	<b>57人</b>	<b>0.83%</b>	
<b>合計</b>	<b>6,705人</b>	<b>100%</b>	<b>6,888人</b>	<b>100%</b>	

※希望率は四捨五入のため、構成比の計は一致しないことがある。

- 調査対象者(6,705人)は、前年同期に比べ183人少ない。
- 進学希望者は、前年同期に比べ173人少なく、希望率は0.12ポイント高い。
- 全日制高校等希望者は、前年同期に比べ215人少なく、希望率は0.73ポイント低い。
- 県内公立高校希望者は、前年同期に比べ217人少なく、希望率は1.26ポイント低い。
- 県内私立高校希望者は、前年同期に比べ9人少なく、希望率は0.29ポイント高い。
- 県外高校・高専希望者は、前年同期に比べ11人多く、希望率は0.23ポイント高い。
- 定時制高校希望者は、前年同期に比べ17人多く、希望率は0.29ポイント高い。
- 通信制高校希望者は、前年同期に比べ22人多く、希望率は0.48ポイント高い。

2 就職希望者

区 分	希望者数	希望率	前年同期	
			希望者数	希望率
県内就職希望者	20人	0.30%	23人	0.33%
県外就職希望者	4人	0.06%	4人	0.06%
計	24人	0.36%	27人	0.39%

○合計は、前年同期に比べ3人少なく、希望率は0.03ポイント低い。

3 その他(専修学校・各種学校、家事手伝い、進路未定、病気療養中など)

区 分	希望者数	希望率	前年同期	
			希望者数	希望率
専修学校・各種学校	11人	0.16%	15人	0.22%
外国の高等学校	5人	0.07%	2人	0.03%
無業(家事手伝い等)	14人	0.21%	11人	0.16%
不詳(未定・病気療養中等)	20人	0.30%	29人	0.42%
計	50人	0.75%	57人	0.83%

○合計は、前年同期に比べ7人少なく、希望率は0.08ポイント低い。

内容

令和6年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査(令和6年12月10日基準日)

全日制公立高等学校希望者

学校名	区分		令和7年度 定員 (A)	入学希望者数 (B)	倍率 (B)÷(A)	前年同期 倍率
	学科(コース)名					
北 社	普通		70	61	0.87	0.86
	内 数	理数コース	25	12	0.48	0.24
		コースのみ	-	0	-	-
	総合学科		90	75	0.83	1.09
	計		160	136	0.85	0.98
韭 崎	普通		180	200	1.11	0.97
	文 理		30	36	1.20	0.90
	計		210	236	1.12	0.96
韭崎工業	工 業(一括募集)		154	97	0.63	0.62
甲府第一	普通		150	169	1.13	1.04
	探 究		60	52	0.87	1.13
	計		210	221	1.05	1.07
甲府西	普通		200	206	1.03	0.77
甲府南	普通		175	247	1.41	1.10
	理 数		40	54	1.35	1.33
	計		215	301	1.40	1.14
甲府東	普通		228	313	1.37	1.46
	内 数	理数コース	40	48	1.20	1.20
		コースのみ	-	10	-	-
甲府工業	機 械		80	72	0.90	1.15
	電 気		80	73	0.91	1.25
	建 築		40	34	0.85	0.93
	土 木		40	26	0.65	0.90
	電 子		40	53	1.33	1.15
	計		280	258	0.92	1.11
甲府城西	総合学科		246	282	1.15	1.15
甲府昭和	普通		213	245	1.15	1.29
農 林	システム園芸		28	22	0.79	1.10
	森林科学		27	14	0.52	0.45
	環境土木		27	25	0.93	0.69
	造園緑地		27	15	0.56	0.83
	食品科学		28	30	1.07	1.27
	計		137	106	0.77	0.87
巨 摩	普通		180	183	1.02	1.01
	内 数	理数創造コース	40	27	0.68	0.88
		コースのみ	-	5	-	-
白 根	普通		124	104	0.84	0.75
青 洲	普通		137	124	0.91	1.05
	工 業(一括募集)		60	56	0.93	1.05
	商 業(一括募集)		70	58	0.83	1.11
	計		267	238	0.89	1.07
身 延	総合学科		75	38	0.51	0.60

前期募集 人 (C)	前期希望者数 (D)	倍率 (D)÷(C)	前年同期 倍率
28	24	0.86	1.00
10	3	0.30	0.30
-	0	-	-
45	58	1.29	1.49
73	82	1.12	1.29
54	77	1.43	1.09
9	16	1.78	1.33
63	93	1.48	1.12
61	50	0.82	0.56
22	28	1.27	1.50
18	21	1.17	1.44
40	49	1.23	1.48
60	86	1.43	0.75
26	52	2.00	1.54
12	22	1.83	1.67
38	74	1.95	1.58
34	51	1.50	2.14
6	10	1.67	0.75
-	-	-	-
40	35	0.88	1.05
40	42	1.05	1.25
20	21	1.05	0.85
20	9	0.45	1.10
20	25	1.25	1.10
140	132	0.94	1.09
110	112	1.02	1.06
42	52	1.24	1.36
11	10	0.91	0.91
10	6	0.60	0.36
10	7	0.70	0.27
10	5	0.50	1.09
11	12	1.09	1.00
52	40	0.77	0.73
72	88	1.22	1.04
16	14	0.88	1.25
-	5	-	-
49	45	0.92	0.69
41	46	1.12	0.93
24	22	0.92	1.13
28	19	0.68	1.11
93	87	0.94	1.03
37	18	0.49	0.53

区 分		令和7年度 定 員 (A)	入学希望者数 (B)	倍率 (B)／(A)	前年同期 倍 率
学 校 名	学 科(コース)名				
笛 吹	普 通	80	70	0.88	0.79
	食品化学	30	27	0.90	1.07
	果樹園芸	30	27	0.90	1.10
	総合学科	85	87	1.02	1.34
	計	225	211	0.94	1.08
日 川	普 通	195	214	1.10	1.10
山 梨	普 通	137	135	0.99	0.87
塩 山	普 通	67	28	0.42	0.51
	内 英数コース	25	3	0.12	0.04
		コースのみ	-	1	-
	商 業(一括募集)	42	11	0.26	0.40
	計	109	39	0.36	0.47
都 留	普 通	170	167	0.98	0.86
上野原	総合学科	78	51	0.65	0.66
都留興譲館	普 通	62	42	0.68	0.65
	英語理数	25	12	0.48	0.60
	工 業(一括募集)	96	57	0.59	0.35
	計	183	111	0.61	0.50
吉 田	普 通	188	183	0.97	1.11
	理 数	40	37	0.93	1.15
	計	228	220	0.96	1.11
富士北稜	総合学科	214	187	0.87	0.80
富士河口湖	普 通	152	147	0.97	1.13
甲府商業	商 業	150	170	1.13	1.01
	情報処理	90	80	0.89	0.97
	計	240	250	1.04	1.00
26校計		4,830	4,696	0.97	0.98
甲 陵	普 通	80	86	1.08	1.06
県 内 公 立 計		4,910	4,782	0.97	0.98
県 外 公 立 計		-	39	-	(38)

前期募集 人 (C)	前期希望者数 (D)	倍率 (D)／(C)	前年同期 倍 率
24	24	1.00	1.29
15	16	1.07	1.40
15	16	1.07	1.40
42	44	1.05	1.40
96	100	1.04	1.38
78	77	0.99	1.20
41	41	1.00	0.88
26	12	0.46	0.58
10	2	0.20	0.10
-	1	-	-
16	5	0.31	0.44
42	17	0.40	0.52
42	33	0.79	1.23
15	16	1.07	0.82
18	14	0.78	0.24
7	4	0.57	0.71
28	28	1.00	0.46
53	46	0.87	0.41
37	35	0.95	1.57
6	10	1.67	1.83
43	45	1.05	1.60
74	56	0.76	0.87
30	32	1.07	1.16
75	81	1.08	1.04
45	38	0.84	0.96
120	119	0.99	1.01
1,598	1,641	1.03	1.04
48	46	-	-

- ※「前年同期倍率」欄は、昨年度の第2次進路希望調査における倍率
- ※「倍率」及び「前年同期倍率」については、小数点以下第三位を四捨五入
- ※「前年同期倍率」欄の( )は、前年同期の入学希望者数
- ※「内数」欄の「〇〇コース」は、普通科のうち同コースを希望した者の数。「コースのみ」欄は、この「〇〇コース」希望者のうち、コース指定に漏れた場合に当該高校の普通科を希望しない者の数
- ※ 韮崎工業高校は、全学科(電子機械科・電気科・情報技術科・環境化学科・システム工学科・制御工学科)を一括して募集
- ※ 青洲高校は、工業二学科(機械工学科、土木工学科)、商業二学科(ビジネス探究科、ビジネス情報科)をそれぞれ一括して募集
- ※ 塩山高校は、商業二学科(商業科・情報ビジネス科)を一括して募集
- ※ 都留興譲館高校は、工業四学科(機械工学科・電子工学科・制御工学科・環境工学科)を一括して募集
- ★ 北杜市立甲陵高校について
  - ① 県立高校(甲府商業を含む)とは異なる独自方式による入試を実施する。
  - ② 令和7年度定員(A)は、県内定員のみであり、入学希望者数(B)に甲陵中学校の生徒(内進生)を含む。
  - ③ 前期募集人員(C)は、県内外一括募集であり、前期募集希望者数(D)に甲陵中学校の生徒(内進生)を含まない。  
県外募集者の状況は現時点では不明なことから、前期募集における倍率は算出しない(前年同期倍率も同様)。



私立高等学校希望者

区 分		令和7年度 募集人員	希望者数	倍 率	前年同期 倍 率
学 校 名	学 科 名				
山梨英和	普 通	120	70	0.58	0.63
身 延 山	普 通	40	14	0.35	0.48
甲斐清和	普 通	260	125	0.48	0.41
	音 楽	20	7	0.35	0.60
	計	280	132	0.47	0.43
駿台甲府	普 通	270	251	0.93	1.00
	美術デザイン	60	64	1.07	0.97
	計	330	315	0.95	0.99
山梨学院	普 通	430	210	0.49	0.55
東海大学付属甲府	普 通	250	95	0.38	0.33
日本航空	普 通	240	56	0.26	0.22
	航 空		7		
	計	240	63	0.26	0.22
日本大学明誠	普 通	320	30	0.09	0.09
帝京第三	普 通	150	52	0.35	0.35
富士学苑	普 通	150	90	0.60	0.63
自然学園	普 通	28	6	0.21	0.32
県 内 私 立 計		2,338	1,077	0.46	0.47
県 外 私 立		-	128	-	(122)

※「倍率」及び「前年同期倍率」については、小数点以下第三位を四捨五入  
 ※前年同期倍率欄の( )は、前年同期の希望者数

定時制公立高等学校希望者

区 分		令和7年度 募集人員	希望者数	倍 率	前年同期 倍 率		
学 校 名	学 科 名						
韭 崎	普 通	40	12	0.30	0.40		
甲府工業	工 業(一括募集)	120	7	0.06	0.04		
巨 摩	普 通	40	5	0.13	0.10		
山 梨	普 通	40	9	0.23	0.15		
都 留	普 通	40	1	0.03	0.03		
中 央	昼間	午前部	普 通	60	22	0.37	0.30
		午後部	普 通	60	28	0.47	0.47
			情報経理	40	6	0.15	0.18
		計	160	56	0.35	0.33	
	夜間	夜間部	普 通	20	3	0.15	0.15
			情報経理	20	0	0.00	0.05
			計	40	3	0.08	0.10
		計	200	59	0.30	0.29	
ひばりが丘	昼間	普 通	30	24	0.80	0.33	
		情報経理	30	5	0.17	0.13	
		計	60	29	0.48	0.23	
	夜間	普 通	30	2	0.07	0.13	
	計	90	31	0.34	0.20		
県 内 定 時 制 計		570	124	0.22	0.19		
県 外 定 時 制 計		-	1	-	(1)		

※「倍率」及び「前年同期倍率」については、小数点以下第三位を四捨五入  
 ※前年同期倍率欄の( )は、前年同期の希望者数  
 ※甲府工業高校は、全学科(機械科・電気科・建築科)を一括して募集

通信制高等学校希望者

区 分	令和7年度 定 員	希望者数	倍 率	前年同期 倍 率
中 央 通 信 制	200	46	0.23	0.27
県立中央高校以外の通信制	-	358	-	(329)
通 信 制 計	-	404	-	(382)

※前年同期倍率欄の( )は、前年同期の希望者数

特別支援学校希望者

単位:人

学 校 名	学 科	希望者数	前年同期
盲学校	普通科	1	0
	保健医療科	0	0
ろう学校	普通科	0	0
甲府支援学校	普通科	1	2
あけぼの支援学校	普通科	0	0
わかば支援学校	普通科	6	11
やまびこ支援学校	普通科	1	2
ふじざくら支援学校	普通科	7	2
かえで支援学校	普通科	6	7
桃花台学園	産業技術科	39	34
山梨大学附属特別支援学校	普通科	1	1
県内特別支援学校計		62	59
県外特別支援学校計		0	0
合 計		62	59

入学希望者数における第2希望の状況

学校名	第2希望学科	計	前年同期
北 杜	普 通	17	12
	総合学科	28	26
韭 崎	普 通	26	21
	文 理	3	5
甲府第一	普 通	42	49
	探 究	1	3
甲 府 南	普 通	47	46
	理 数	2	0
青 洲	普 通	5	9
	工業(一括募集)	16	17
	商業(一括募集)	35	30
笛 吹	普 通	35	35
	総合学科	37	19
都留興譲館	普 通	9	15
	英語理数	1	0
	工業(一括募集)	12	23
吉 田	普 通	34	34
	理 数	0	2
合 計		350	346

※志願先高等学校に普通科、専門教育学科、総合学科、職業に関する学科の2学科以上が設置されている場合、次に示す学科間で第2志望まで志望順位を付けることができる。

- ・普通科と専門教育学科
- ・都留興譲館高等学校の普通科と工業科
- ・北杜高等学校及び笛吹高等学校の普通科と総合学科
- ・青洲高等学校の各学科

全日制高等学校学科別進学希望者数 [県内 公立・私立]

学科名	今回		本年度第1次調査		前年同期	
	希望者	構成比	希望者	構成比	希望者	構成比
普通科	3,923	66.96	4,038	67.95	3,977	65.36
理数科	91	1.55	101	1.70	99	1.63
文理科	36	0.61	31	0.52	27	0.44
英語理数科	12	0.20	6	0.10	15	0.25
探究科	52	0.89	63	1.06	68	1.12
総合学科	720	12.29	752	12.65	777	12.77
美術デザイン	64	1.09	53	0.89	58	0.95
音楽科	7	0.12	4	0.07	12	0.20
航空科	7	0.12	4	0.07	2	0.03
農業科	160	2.73	120	2.02	192	3.16
工業科	468	7.99	457	7.69	504	8.28
商業科	319	5.44	314	5.28	354	5.82
計	5,859	100	5,943	100	6,085	100

※小数点以下第三位を四捨五入しているため、構成比の計は一致しないことがある。

全日制高等学校学科別進学希望者数 [県内公立]

学科名	入学希望者数						前期募集希望者数					
	今回		本年度第1次調査		前年同期		今回		本年度第1次調査		前年同期	
	希望者	構成比	希望者	構成比	希望者	構成比	希望者	構成比	希望者	構成比	希望者	構成比
普通科	2,924	61.15	3,228	63.64	2,963	59.27	863	51.15	993	55.23	850	48.65
理数科	91	1.90	101	1.99	99	1.98	32	1.90	40	2.22	31	1.77
文理科	36	0.75	31	0.61	27	0.54	16	0.95	15	0.83	12	0.69
英語理数科	12	0.25	6	0.12	15	0.30	4	0.24	3	0.17	5	0.29
探究科	52	1.09	63	1.24	68	1.36	21	1.24	29	1.61	26	1.49
総合学科	720	15.06	752	14.83	777	15.54	304	18.02	305	16.96	345	19.75
農業科	160	3.35	120	2.37	192	3.84	72	4.27	48	2.67	83	4.75
工業科	468	9.79	457	9.01	504	10.08	232	13.75	224	12.46	227	12.99
商業科	319	6.67	314	6.19	354	7.08	143	8.48	141	7.84	168	9.62
計	4,782	100	5,072	100	4,999	100	1,687	100	1,798	100	1,747	100

※小数点以下第三位を四捨五入しているため、構成比の計は一致しないことがある。

※前期募集希望者数の希望者及び構成比については、今回及び前年同期ともに甲陵高校に甲陵中学から進学を希望する生徒(内進生)を除いて算出した数である。

全日制高等学校における進学希望の高い学科[県内公立]

入学希望									前期募集								
今回			本年度第1次調査			前年同期			今回			本年度第1次調査			前年同期		
学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率
甲府南	普通	1.41	甲府東	普通	1.85	甲府東	普通	1.46	甲府南	普通	2.00	甲府東	普通	3.03	甲府東	普通	2.14
甲府東	普通	1.37	甲府工業	電子	1.70	笛吹	総合学科	1.34	甲府南	理数	1.83	甲府第一	普通	2.71	吉田	理数	1.83
甲府南	理数	1.35	甲府南	理数	1.50	甲府南	理数	1.33	韮崎	文理	1.78	甲府南	理数	2.58	甲府南	理数	1.67
甲府工業	電子	1.33	甲府昭和	普通	1.44	甲府昭和	普通	1.29	吉田	理数	1.67	甲府昭和	普通	2.24	吉田	普通	1.57
韮崎	文理	1.20	甲府第一	普通	1.44	農林	食品科学	1.27	甲府東	普通	1.50	甲府南	普通	2.04	甲府南	普通	1.54

専決処分を予定している条例の概要

教育庁生涯学習課

<p>題 名</p>	<p>青少年保護育成のための環境浄化に関する条例の一部を改正する条例</p>
<p>趣 旨</p>	<p>特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律の一部改正に伴い、当該法令の条項及び用語を引用する規定の整理を行う必要がある。</p>
<p>内 容</p>	<p>1 条例改正の背景等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年5月、特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律（以下「法」という。）の一部が改正された（公布の日から起算して1年を超えない範囲内において政令で定める日から施行）。</li> <li>○ このため、当該法令の条項及び用語を引用する規定の整理を行う必要がある。</li> </ul> <p>2 条例改正の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法の条項及び用語を引用する規定を次のように整理する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>特定電気通信による情報の流通によって発生する権利侵害等への対処に関する法律</li> <li>・ 第2条第3号 → 第2条第4号</li> </ul> </li> </ul>
<p>施行期日</p>	<p>特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律の一部を改正する法律の施行の日から施行する。</p>
<p>留意点</p>	<p>地方自治法第180条第1項の規定により専決処分にするものである。</p>
<p>参考事項</p>	<p>なし</p>





青少年保護育成のための環境浄化に関する条例新旧対照表

新

旧

<p>(インターネット利用環境の整備) 第七条の二 略</p>	<p>(インターネット利用環境の整備) 第七条の二 略</p>
<p>2 略</p> <p>3 端末設備の販売、頒布又は貸付けを業とする者及び特定電気通信役務提供者(特定電気通信による情報の流通によって発生する権利侵害等)の対処に関する法律(平成十三年法律第百三十七号)第二条第四号に規定する特定電気通信役務提供者をいう。)は、その事業活動を行うに当たっては、フィルタリングの機能を有するソフトウェアに関する情報その他の青少年がインターネットの利用により有害情報を閲覧し、又は視聴することを防止するため必要な情報を提供するように努めなければならない。</p>	<p>2 略</p> <p>3 端末設備の販売、頒布又は貸付けを業とする者及び特定電気通信役務提供者(特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律(平成十三年法律第百三十七号)第二条第三号に規定する特定電気通信役務提供者をいう。)は、その事業活動を行うに当たっては、フィルタリングの機能を有するソフトウェアに関する情報その他の青少年がインターネットの利用により有害情報を閲覧し、又は視聴することを防止するため必要な情報を提供するように努めなければならない。</p>



## 情報流通プラットフォーム対処法（プロバイダ責任制限法の一部改正）の概要

誹謗中傷等のインターネット上の違法・有害情報に対処するため、**大規模プラットフォーム事業者に対し**、

**①対応の迅速化、②運用状況の透明化**に係る措置を義務づける。

### 改正事項

**大規模プラットフォーム事業者**<sup>※1</sup>に対して、以下の措置を義務づける。

※1 迅速化及び透明化を図る必要性が特に高い者として、権利侵害が発生するおそれが少ない**一定規模以上等の者**。

#### ① 対応の迅速化（権利侵害情報）

- ・ 削除申出窓口・手続の整備・公表
- ・ 削除申出への対応体制の整備（十分な知識経験を有する者の選任等）
- ・ 削除申出に対する判断・通知（原則、一定期間内）

#### ② 運用状況の透明化

- ・ 削除基準の策定・公表（運用状況の公表を含む）
- ・ 削除した場合、発信者への通知

上記規律を加えるため、**法律**<sup>※2</sup>の題名を「**特定電気通信による情報の流通によって発生する権利侵害等への対処に関する法律**」（情報流通プラットフォーム対処法）に改める。

※2 特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律（プロバイダ責任制限法：プロバイダ等の免責要件の明確化、発信者情報開示請求を規定）

### 施行期日

公布の日から起算して1年を超えない範囲内において政令で定める日

(令和7年1月7日 定例教育委員会)

課名

保健体育課

件名

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

**全国の調査結果の概要**

- ・体力合計点は、中学男子ではコロナ前の水準に戻ったが、小学校男子及び中学校女子では前年度からほぼ横ばい、小学校女子は引き続き低下している。
- ・1週間の総運動時間が420分以上の割合は、小学校で増加、中学校男子で横ばい、中学校女子は減少した。
- ・「運動は好き」と答えた児童生徒は、小中学校男女ともに増加し、中学校男子では過去最高となった。

**山梨県の調査結果の概要**

**1 調査の概要**

- 対象：小学校、特別支援学校小学部第5学年 中学校、特別支援学校中学部第2学年
- 参加学校数、生徒数：小学校、特別支援学校 169校 5,776名  
中学校、特別支援学校 82校 5,334名
- 調査事項：実技に関する調査8種目、運動習慣、生活習慣等に関する調査、他

**2 体力・運動能力の状況**

**(1) 体力合計点**

※体力合計点とは、50m走やボール投げなどの8種目の測定値を、それぞれ10点満点に変換し、合計した得点

**[体力合計点平均値の全国との差]**

※( )は令和5年度の得点

		全国平均値	本県平均値	全国平均値との差
小学校	男子	52.53 (52.59)点	52.17 (51.69)点	-0.36 (-0.90)
	女子	53.92 (54.28)点	53.48 (53.83)点	-0.44 (-0.45)
中学校	男子	41.86 (41.32)点	44.02 (42.31)点	+2.16 (+0.99)
	女子	47.37 (47.22)点	48.60 (48.50)点	+1.23 (+1.28)

- ・体力合計点の本県平均値は、小学男子と中学男女で令和5年度の結果を上回った。コロナ禍後の運動時間の増加が、結果に結びついたと考えられる。
- ・本県の小学生は全国平均値を下回っているが、全国平均値との差は令和5年度よりも縮まった。
- ・本県の中学生は、男女ともに平成28年から8年連続で全国平均値を上回った。全国平均値との差は令和5年度に比べ、男子は大きく上回ったが、女子はやや差が縮まった。

**(2) 各種目の状況**

**①全国平均値との比較 (小学校)**

※( )は令和5年度の県と全国平均値との差

	男子			女子		
	本県平均値	全国平均値との差		本県平均値	全国平均値との差	
握力(kg)	15.94	-0.07(-0.23)	○	15.67	-0.10(-0.05)	
上体起こし(回)	18.89	-0.30(-0.22)		17.80	-0.36(+0.08)	
長座体前屈(cm)	33.38	-0.41(-0.58)		38.18	-0.01(-0.26)	
反復横とび(回)	41.19	+0.53(-0.47)	☆	39.09	+0.39(+0.19)	☆
20mシャトルラン(回)	44.60	-2.30(-3.74)	○	33.30	-3.29(-3.75)	○
50m走(秒)	9.48	-0.02(+0.02)	☆	9.79	+0.02(+0.02)	
立ち幅とび(cm)	148.75	-1.67(-2.09)		141.58	-1.55(-1.26)	
ソフトボール投げ(m)	20.60	-0.15(-0.37)	○	13.62	+0.47(+0.40)	☆

[50m走の(-)は数値が良いこと、(+は数値が悪いこと)を示す。]

※ ☆印は、全国平均値以上を表す。

※ ○印は、令和5年度の県平均値を上回り、かつ令和5年度より全国平均値に近づいたことを表す。

- ・男子の反復横とび、50m走、女子の反復横とび、ソフトボール投げは、全国平均値を上回った。
- ・男子の握力、20mシャトルラン、ソフトボール投げと女子の20mシャトルランは、令和5年度の県平均値を上回り、全国平均値に近づいた。

内容

## ②全国平均値との比較（中学校）

※（ ）は令和5年度の県と全国平均値との差

	男子			女子		
	本県平均値	全国平均値との差		本県平均値	全国平均値との差	
握力(kg)	30.34	+1.39(+0.86)	☆●	23.73	+0.55(+0.49)	☆●
上体起こし(回)	26.58	+0.64(+0.22)	☆●	21.94	+0.38(-0.01)	☆●
長座体前屈(cm)	45.43	+0.96(+0.08)	☆●	46.66	+0.19(-0.44)	☆●
反復横とび(回)	52.55	+1.04(+1.23)	☆	46.23	+0.58(+0.78)	☆
20mシャトル(回)	80.03	+1.05(+0.42)	☆●	50.28	-0.39(+1.11)	
50m走(秒)	7.93	-0.06(+0.02)	☆●	8.90	-0.06(-0.06)	☆
立ち幅とび(cm)	198.94	+1.76(+0.71)	☆●	166.15	-0.17(+0.65)	
ハンドボール投げ(m)	20.98	+0.41(-0.07)	☆●	12.87	+0.47(+0.30)	☆●

【50m走の(-)は数値が良いこと、(+は数値が悪いこと)を示す。】

※ ☆印は、全国平均値以上を表す。

※ ●印は、令和5年度の県平均値を上回り、かつ全国平均値との差が向上した。

- ・男子は全8種目(R5は6種目)、女子は6種目(R5は6種目)が全国平均値を上回った。
- ・男子は7種目、女子は4種目において、全国平均値との差が令和5年度よりも向上した。

## 3 運動習慣の状況

### (1) 1週間の総運動時間

#### 1週間で420分以上運動を行う児童生徒の割合

		R 4	R 5	R 6	R6全国の割合	全国との差
小学校	男子	54.1%	52.8%	56.4%	50.5%	+5.9%
	女子	34.0%	30.9%	31.0%	28.5%	+2.5%
中学校	男子	84.9%	82.7%	82.7%	77.6%	+5.1%
	女子	63.9%	63.9%	63.1%	56.3%	+6.8%

- ・小・中学校の男女全てにおいて、全国の割合を上回った。

### (2) 運動やスポーツに対する意識の状況

#### 「運動やスポーツが好き」と回答した児童生徒の割合

		R 4	R 5	R 6	R6全国の割合	全国との差
小学校	男子	73.5%	75.0%	76.0%	73.0%	+3.0%
	女子	59.7%	58.7%	58.8%	54.8%	+4.0%
中学校	男子	61.6%	61.3%	66.1%	65.5%	+0.6%
	女子	42.9%	39.7%	44.1%	43.2%	+0.9%

- ・小中学校の男女全てにおいて、「運動やスポーツが好き」と回答した児童生徒の割合が、全国の割合を上回った。
- ・上記結果に「やや好き」と回答した結果を含めると、小学男子94.9%、女子89.1%、中学男子91.9%、女子78.1%となり、いずれも全国平均を上回り、肯定的な意識が高い児童生徒が多いことがわかる。

## 4 考察

- ・「運動やスポーツに対する意識」に肯定的な回答が多い要因として、楽しい体育授業の実践や休み時間等の活動の工夫等が考えられ、運動時間の確保にもつながっている。
- ・小学校で運動の楽しさを実感した児童が、中学校入学後も継続して運動に親しむことにより、体力の向上に結びつく好循環につながっている。(R3からR6の記録の向上)

## 5 今後の対応策

- ・児童生徒が運動の楽しさを実感し、自ら進んで運動に取り組む態度の育成を目指す。
- ・体力向上の成果が表れつつあるため、さらに「体力合計点の平均値」を高めることと、「1週間の総運動時間が420分以上の割合」を増やすため、次の取り組みの充実を図る。

(◎は重点項目)

◎楽しい体育授業づくりの工夫と運動時間や運動内容の改善〈小・中学校〉

◎休憩時間における運動遊びの奨励〈小学校〉

○体育的活動（運動会や体育祭、部活動等）における実施内容の工夫〈小・中学校〉

○「子供の体力向上推進事業」※の推進〈小・中学校〉

(※)「子供の体力向上推進事業」の具体例

- ①もっと楽しい体育授業で体力アップ！〈小学校〉
- ②目指せ！やまなしチャンピオン！〈小学校〉
- ③健康・体力づくり一校一実践運動〈小・中学校〉